



「誰のため」「何のため」の 異動なのか!?

職場から怒りの声が届く!

号外

J T S U - E ●●●分会情報

不当強制転勤は絶対許さない!

組合員のみなさんに訴えます!

9月6日、会社は突如として分会執行委員であるAさんに■■センターへの異動を懲憑してきました。10月1日付、■■センターの▲▲Gへの異動を伝え、「本人のステップアップ」と説明しています。Aさんはこれまで「転勤希望」を出したことはなく、当然断りました。ステップアップと称しながら▲▲Gに配属とは意味が通りません。それを指摘すると、ゆくゆくは異動先の当直をやってもらおうと言ってきました。2回目の懲憑の場でも断ると、あろうことか「就業規則に則り進める」と強権的に迫りました!

みなさんご承知の通り、Aさんは職場の当直として業務を担っています。転入以来、機能保全・技管・構内運転・派出検査と車両センターのほぼ全業務を経験しています。この間蓄積した豊富な経験を活かし、指令・各パート・JETS・メディア・協力会社と連絡・調整・計画業務に日々奮闘しています。今後ともこの職場を中心的に担っていくべき人材です。職場内外の仲間からの信頼も厚いAさんを希望もしていない■■センターに異動させようとする会社の姿勢からは現場社員を大切にする姿勢が微塵も感じられません。

転勤に当たっては本人の希望や将来設計などを重要視し、その上で理解し納得できる意義などを丁寧に説明しなければなりません。運車職場では「本人のためだから」「もう決まっていることだから」と意味の通らない一方的な異動発令をすることが横行しています。いわゆるジョブローテーションです。今回の懲憑で会社は、「車両検修職場にはジョブローテーションはないが、同様の考えで今回その第一弾として行う」と言っています。つまりこれから本人意思を無視した異動があるということです。会社の狙いは、JTSU-Eに結集する仲間の分断、組織の弱体化です。見せしめとして組合員の動揺を狙い、また、未加入者への牽制を狙っています。強制転勤に伴い、本人のモチベーション低下は言うに及ばず、いつ自分が異動になるか恐れ、業務に集中することができない職場になります。強制転勤が強行されれば、安全と技術、チームワークが崩壊します。

組合員のみなさん! 私たちは強制転勤を絶対に許してはなりません! 今後ともあらゆるたたかいを全ての仲間とともに作りだしていきましょう。ご協力をお願いします!

※分会情報をもとに、情宣部にて一部編集を加えています。

経験豊富な人材を理由ならぬ理由で異動!
整合性のない「見せしめ」異動の乱発では
職場の安全は保てない!
「社員の幸福」を真に実現するために、
理不尽なことには声を上げ続けよう!